



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

10

No.638



まちひと百景

クラリネットって楽しい!

古丹別小学校で開催された一般社団法人留萌地方
法人会女性部会主催の「小学生のためのクラリネット
コンサート&租税教室」での一コマ。

冒頭のクラリネットコンサートでは、人気歌手やアナと
雪の女王のテーマなど児童でも聞き覚えのある曲がかか
ると会場は大盛り上がり。

歌ったり、踊ったりする児童にアーティストの方々も演
奏後には「これだけ反応してもらえるとすごくうれしい。こ
んなに盛り上がるとは」ととても驚いていた。

- 特集「災害に備える」・・・2～3
- 苫前町の宝・住まいるネットほか・・・4
- 日ハムベースボールアカデミーほか・・・5
- みんなの作品展ほか・・・6
- 苫前町敬老会・地域社会貢献事業・・・7
- 健康ばんざい・・・8
- 国民健康保険ガイド・・・9
- 国民年金・・・10
- 学びの情報・・・11
- 平成25年度健全化判断比率等の公表・・・12
- 住まいる情報・・・13
- 中学生ギャラリー・・・14

まちの人口

人 口／3,407人 (男／1,614人：女／1,793人)
世帯数／1,635世帯 (9月30日現在)

URL：<http://www.town.tomamae.lg.jp>

～東日本大震災の教訓を忘れるな～

あの東日本大震災から早くも3年が過ぎようとしています。ニュースなどで家屋や車が流されていく映像は私たちの目にも衝撃的で忘れることができませんが、皆さんの中に震災を機に避難用具などを常備している家庭はあるでしょうか？

震災当時は気をつけようと思っても、この地域ではあまり地震も起きないなどと思う人もいるかもしれませんが、本町では平成16年9月には台風18号が、同年12月には小平町を震源とする震度5強の地震が発生、さらに本年8月には大雨による土砂崩れなどの被害が発生しています。

異常気象が多発する今「災害はいつ起きるかわからない」とも、異変が起きたら備えが必要であることを確認しましょう。

災害発生。

さあどうするでは遅い！

災害発生の場合には、誰かの指示を待っているわけにはいきません。自ら情報を入力・判断し、行動することが必要となります。

そのためには2つをキーワードに注意していく必要があります。

キーワード① 情報

得る

災害が発生した際によくテレビやラジオのニュースや緊急速報などを見る情報ですが、例えば、避難準備、避難勧告、避難指示など皆さんはその意味を理解していますか？

災害が発生した場合に使われる言葉で分かりづらいものもあると思いますので、ここではその違いについてもう一度確認しましょう。

■大雨や洪水などで使われる言葉

種類	住民の行動
避難準備	危険予想地域の住民に対し、人的被害の発生の可能性が高まった状況で、避難の際に支援を要する人は避難行動を開始。その他の人は避難の準備を開始すること。
避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況で、対象の住民は避難行動を開始することを勧めること。
避難指示	人的被害の発生する危険性が非常に高い状況で、避難していない人はただちに避難行動を移すこと。

■川の水位で使われる言葉

危険レベル	洪水予報	水位の名称	住民の行動	
レベル1	-	-	-	
レベル2	はん濫 注意情報	はん濫 注意 水位	避難準備情報など発令判断の目安、住民への注意喚起	はん濫の情報に注意
レベル3	はん濫 警戒情報	避難 判断 水位	避難勧告などの発令判断、住民避難判断の目安	避難勧告などの可能性あり。避難を判断
レベル4	はん濫 危険情報	はん濫 危険 水位	洪水により相当の家屋浸水などの被害の恐れがある水位	避難を完了
レベル5	はん濫 発生情報	はん濫 発生	-	-

■津波で使われる言葉

種類	水位の名称	発表される津波の高さ
津波注意報	高いところで0.5メートル程度の津波が予想されるので注意を。	0.5m
津波警報	高いところで2メートル程度の津波が予想されるので、警戒を。	1 m、2 m
	高いところで3メートル程度以上の津波が予想されるので、厳重に警戒を。	3 m、4 m、6 m、8 m、10 m以上

そのようなことを意味していたんですね。



8月5日の大雨の際の三毛別川の様子

本町では、避難準備、避難勧告、避難指示は地区ごとに発表します。したがってその地区で高台に住まわれている方、低い土地に住まわれる方などがいると思います。そのようなことから、発表された地域の方は、避難勧告等の発表の有無にかかわらず、現在の状況やこれからの天候など総合的に判断し、速やかな行動をとるよう注意をお願いします。

本町のホームページにも防災マップなど防災の情報が掲載されております。
<http://www.town.tomamae.lg.jp/section/somu/oa5p85000000e4o.html>

災害に備える

8月4日から5日に発生した大雨では、崖崩れによる国道232号線の通行止めや川のはん濫による農地や道路の冠水などが発生するなど大きな被害を受けました。

町でも被害状況などの現状把握のためパトロールを行うなどの対策を行っていましたが、別な地域の被害の把握や対応もあるため、そう何回も実施することができない状況でした。

ついでには、住民の皆さんには人命や財産にかかわる災害が発生したとき、また発生しそうなときには役場への通報をお願いします。小規模な災害であれば、応急措置や被害拡大防止などの対応を図ることができるからです。

伝える



平成16年の台風18号の際の三豊地区の様子

キーワード② 準備

備える

災害が発生すると自宅での待機や場合によっては避難所での生活を送らなければならないことも考えられます。

そのようなときでもすぐ対応できるように災害に備え準備しておくことが大切になります。

その際には避難のときに持つて行ける「非常持ち出し品」と、自宅で生活ができるような「非常備蓄品」を保管しておくようにしましょう。

非常持ち出し品の例

- 貴重品（現金、印鑑、通帳など）
- 携帯ラジオ・懐中電灯
- 非常食・水・医薬品
- ヘルメット・防災ずきん
- その他（衣類・軍手・タオル・雨具・ビニール袋・毛布・ライター・防災マップなど）

これ以外にも家族構成にあわせて

- 乳幼児がいる家庭は
粉ミルク・おむつ・離乳食など
- 妊婦のいる家庭は
母子手帳・さらし・T字帯など
- 要介護者のいる家庭は
おむつ・常備薬・補助具など

その家庭によっては結構な数になりますね。

非常備蓄品の例

- 食糧品（簡単な調理で食べられるもの）
- 水（1人1日3リットルを目安）
- 燃料（カセットコンロ・固形燃料）
- 工具類（スコップ・ロープなど）
- その他（毛布・寝袋・衣服・携帯トイレ・カイロなど）

生きる

災害のない今、もう一度家庭で避難先や避難経路などを確認しておき、避難の際は特別な場合を除き徒歩での避難を心がけましょう。

自分のところは大丈夫と思わず、早めの行動をとることで被害を最小限に食い止めることができます。

災害時にはもちろん役場や消防などが救助活動などを行いますが、各地域に救助に行くにはある程度の時間を要します。このため自分の命は自ら守る「自助」とともに、地域や近所の人と互いに助け合う「共助」が重要になります。

日頃から近所の方とのコミュニケーションづくりを努め、互いに助け合うことのできる環境づくりも必要なことです。



写真提供：仙台市

「苦前町の宝」第2回目の募集開始!

～第1回目の募集では風景や歴史資料など計30点の応募が寄せられる～



第1回目に応募のあった約30点の宝

第1回目の募集では

苦前町に住む方に自分の住むまちに更なる愛着を持ってもらい、まちを元気にするため、町民や町民以外の多くの方々にご協力をいただき、他のまちに誇ることができ「苦前町の宝」事業は5月13日から9月30日まで募集を行い、風景や建物、歴史資料、人物など幅広い分野で、町内に居住する小学生から高齢者まで約30点の応募がありました。皆さんの郷土を愛する気持ちが伝わるものが多く、大変ありがとうございました。

第2回目の募集を行います!

町では第2回目として10月1日から3月31日までの秋から冬にかけての郷土の誇るべき宝を募集します。

応募はデジタルカメラで撮影した電子データでも構いませんし、写真に現像した物を提出していただいた方もいました。また、絵に描いて提出してくれた小学生や文章にして応募していただいた方もいますので、どんな方法でも構いません。

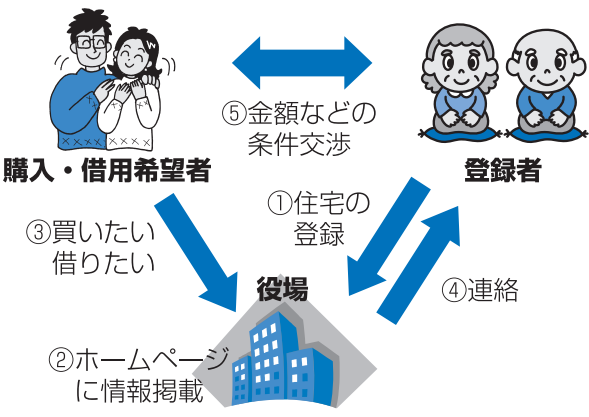
応募用紙は役場や福祉センター、公民館に設置していますし、町のホームページからもダウンロードすることができます。

また、応募用紙を郵送や電子メールで送信を希望される方にも対応しますので、まず左記に記載しているところへ問い合わせ先まで連絡をお願いします。

応募された作品の活用方法や記念品については、選考委員会で随時協議していくこととなっておりますので、もう少しお待ち下さい。

苦前町の宝に関するお問い合わせ
 企画振興課まちおこし係
 電話 64-2222
 メール machi@town.
 tomamae.lg.jp

住宅を売りたい・貸したい方はいませんか?～苦前町住まいるネット制度について～



住まいるネットとは?

住まいるネットとは、町内のままだ住むことができる住宅・事務所・店舗などを有効に利用するため、住宅の所有者と住宅を買いたい、借りたいという方の橋渡しを行う制度です。

どうしたらいいの?

住宅を売りたい、貸したいという方は住宅の登録をしてもらいます。町ではその情報をホームページに掲載、広くPRを行います。この情報を見て条件にあう方が町へ連絡をします。町では所有者の方に連絡、所有者と利用を希望する方が直接条件等について交渉していただくものです。

売る・貸す以外にも!

住まいるネットでは売りたい、貸したい以外にも苦前町内に居住していない方で住宅が本町にあり、積雪や台風などで住宅が壊れていないかというような住宅の状況を教えてほしいという方にも利用いただける制度となっています。この場合にも売りたい・貸したいと同様に登録いただくことで、自然災害や積雪などで住宅に支障が発生した際に町から状況をお知らせすることができます。

現在の登録状況は?

9月末現在の登録状況は2件の空き家情報をホームページに掲載していますが、町外からの問い合わせが増えている状況となっております。

このようなことから町でも空き家を増やすことなく活用していきたいことから、この制度を広く周知し、登録者を増やしたいと考えておりますので、よろしくお問い合わせいたします。

この制度についての問い合わせは左記の連絡先までお願いいたします。

住まいるネットに関するお問い合わせ
 企画振興課まちおこし係
 電話 64-2222
 メール machi@town.
 tomamae.lg.jp

北海道日本ハムファイターズ2014ベースボールアカデミー野球教室



8月18日(月)に町野球場で北海道日本ハムファイターズ2014ベースボールアカデミー野球教室が開催され、町内の小学生約30名が参加し野球の基礎基本をプロから学んだ。

今回の教室は、町体育協会と7月に発足した同球団の苦前後援会(ともに平田日出男会長)の主催で行われ、教室では旭川市出身の牧谷宇佐美さんと高口隆行さんの2名が指導を行った。

参加者は走塁、キャッチボール、守備などの基礎基本を学んだが、走塁では高口さんから「全力疾走を心がけること。うまくなる時期にこのことができないと成長の妨げになる」と指導があり、参加者らは勢いよくベースを駆け抜けていた。

恒久平和実現のため後世へ伝える! ~平成26年度苫前町戦没者追悼式~

この後、参列者全員が戦没者に対して恒久平和の実現を祈りながら献花を行った。

森見一遺族会長も「今なお痛恨の極みである思いは消えない。平和な時代は多くの尊い命の犠牲の上にあることを忘れてはならない」と述べた。

166柱の戦没者名簿の献上後、サイレンとともに黙祷が行われ、当実行委員長でもある森町長は「二度と戦火が起きぬよう平和な今日に若い世代へ戦争の悲惨さを伝えていかなければならない」と挨拶した。

8月19日(火)とままえ温泉ふわつとホールで平成26年度苫前町戦没者追悼式が遺族や来賓などあわせて約50名が参加し挙行された。



声援が飛び交う中、力出し切る ~第5回とままえ水泳競技会~



今大会では9つの新記録が誕生するなど、白熱した争いが繰り広げられた。結果は次のとおり(各競技の本町選手の1位のみ記載。太枠太字が新記録)

8月24日(日)B&G海洋センターで苫前水泳少年団育成会(林綾子会長)主催の第5回とままえ水泳競技会が地元少年団員ほか留萌市増毛町などの児童や一般などあわせて約70名の参加で開催された。

競技は各学年別に29部門に分け、自由形や平泳ぎ、背泳ぎなど4種目の25、50メートル別とビート板、自由形リレー2種目を行った。会場では保護者などが必死にがんばる子ども達に「もう少しだ」「ファイト」などの声援が飛び、ゴールした後は大きな拍手が鳴り響いていた。

種目	学年	氏名	タイム
25メートル 背泳ぎ(中学生女子)	中1	川森 千聖	26"06
自由形(小学5・6年女子)	小5	前川咲弥花	21"03
自由形(中学生男子)	中1	橋場 吏玖	18"50
自由形(中学生女子)	中1	川森 千聖	21"20
50メートル 自由形(小学5・6年男子)	小5	橋場 星宙	39"78
自由形(小学5・6年女子)	小6	工藤千翔星	44"97
自由形(中学生男子)	中1	田井脩太郎	40"33
自由型(中学生女子)	中3	林 寿実玲	43"32

種目	学年	氏名	タイム
50メートル 背泳ぎ(小学3・4年女子)	小3	猪股 真央	58"59
背泳ぎ(小学5・6年女子)	小5	前川咲弥花	54"74
背泳ぎ(小学5・6年男子)	小6	林 優汰	1'08"09
背泳ぎ(中学生男子)	中1	田井脩太郎	48"88
平泳ぎ(小学5・6年男子)	小5	橋場 星宙	52"05
バタフライ(小学5・6年男子)	小5	橋場 星宙	51"97
100メートル リレー	TEAM もう中学生	林 寿実玲、橋場 吏玖、川森 千聖、田井脩太郎	1'18"23

「大きくなって帰ってきてね!」~町内保育園児がヒラメを放流~

園児らは約8センチに育った300匹のヒラメを小さいバケツで放流、「大きくなって帰ってきてね」と言い、心配そうにヒラメの姿を見ていた。

森町長は「ヒラメが大きくなって苦前に戻ってくることを祈りながら海に戻しましょう」と、北るもい漁協苫前支所の加藤孝幸理事も「ヒラメを放流して19年になりますがお魚はとても栄養があるのでたくさん食べて下さい」と挨拶した。

北海道栽培漁業振興公社や北るもい漁協などの協力で毎年実施しているヒラメ放流式が8月28日(木)苫前漁港新港で、苫前保育園(青木久美子園長)と古丹別保育所(川森のり子所長)の年長組19名が参加し行われた。



芸術の秋を先取り！ ～第3回みんなの作品展を開催～



苦前地区でも芸術作品を楽しめる機会と住民が集いコミュニケーションを図ることが出来る場を設けることを目的とした苦前地区趣味の会（野澤哲美代表）主催の第3回目となるみんなの作品展が9月6日（土）・7日（日）にかけて福祉センターで開催された。

この作品は前回から4年ぶりに開催され、会場には絵画や手芸、絵手紙、陶芸など約300点のすばらしい作品が展示され、来場された方は「上手だね」「懐かしいね」などと話しながら芸術の秋を楽しんだ。

苦前の昭和30年代にあった建物の絵画に再現し展示した名畑睦美さんは「昔の白黒写真や記憶などを頼りに色づけをした。来場された方々が少しでも喜んでもらえれば」と語り、来場された方に作品の説明をしていた。

留萌管内の消防団が集まり災害時の役割学ぶ ～平成26年度消防団員現地教育訓練～

消防団員が職務遂行に必要な実務や知識、技能の習得を目的とした留萌管内の消防団員現地教育訓練が9月7日（日）公民館で約140名が参加により開催された。

国旗掲揚や閲団の後、北海道消防協会留萌地方支部の高橋豊支部長、留萌振興局地域政策部の木林雅彦部長、森町長が「近年火災や災害が大規模化し、今年是全国的に災害が多発しているため、この機会に知識・技能を習得し住民の期待に応えてほしい」と挨拶した。

講話では札幌市消防局中央署の田岡敏正署長が「大災害時の消防団員の役割」を、訓練例式では北海道消防学校の東村丞講師からは小隊ごとの整列などの訓練が行われ、講話では「的確な判断の上指揮をとること。互いの顔が見える体制づくりのため継続した訓練を」と団員へ述べられた。

消防団員が職務遂行に必要な実務や知識、技能の習得を目的とした留萌管内の消防団員現地教育訓練が9月7日（日）公民館で約140名が参加により開催された。

国旗掲揚や閲団の後、北海道消防協会留萌地方支部の高橋豊支部長、留萌振興局地域政策部の木林雅彦部長、森町長が「近年火災や災害が大規模化し、今年是全国的に災害が多発しているため、この機会に知識・技能を習得し住民の期待に応えてほしい」と挨拶した。

講話では札幌市消防局中央署の田岡敏正署長が「大災害時の消防団員の役割」を、訓練例式では北海道消防学校の東村丞講師からは小隊ごとの整列などの訓練が行われ、講話では「的確な判断の上指揮をとること。互いの顔が見える体制づくりのため継続した訓練を」と団員へ述べられた。



飲み・食べ・ステージを楽しむ！ ～チャリティーフェスティバルinとままえ～



今年で4回目となる大新東株式会社主催のチャリティーフェスティバルinとままえが9月7日（日）に開催された。

東日本大震災への募金を目的に始まった同イベントも、町内の支援を必要とする方への協力として会場内に募金箱を設置、集まった金額を町社会福祉協議会へ寄贈するものへと変更し開催されている。

会場内では歌手やよさこいチームによる演舞、子供によるダンスなどを楽しむとともに、北るも漁協やJA苦前町による農水産物や加工品の販売、とままえ温泉ふわつとのエビバーガーなどが販売され、集まった来場者が飲食やお土産を購入していた。

また、今年初めて大抽選会も行われ、羽毛布団や大新東グループの管理施設の宿泊券などが当選券を凝視していた。

クラリネット演奏を楽しみ、税金のお勉強も ～一般社団法人留萌地方法人会女性部会による租税教室開催～

一般社団法人留萌地方法人会女性部会が主催の「小学生のためのクラリネットコンサート&租税教室」が9月16日（火）古丹別小学校（笹森文夫校長）で開催された。

これは芸術に触れる機会と税の知識を得ることとを目的に毎年留萌管内を南部・中部・北部の順番で実施しており、本年は中部で開催されたもの。児童らはクラリネットと雪の女王のテーマなど聞き覚えのある5曲を鑑賞、歌ったり踊ったり楽しんだ後には、税金の学習として「小学生一人当たり」に使われる税金の額「や」日本の税金は何種類あるか「などをクイズ形式で回答、特に「1億円の重さは何キログラム？」では講師の留萌税務署職員が準備した1億円の束のレプリカを重そうに抱える体験もあったり、学習成果があったよう

一般社団法人留萌地方法人会女性部会が主催の「小学生のためのクラリネットコンサート&租税教室」が9月16日（火）古丹別小学校（笹森文夫校長）で開催された。

これは芸術に触れる機会と税の知識を得ることとを目的に毎年留萌管内を南部・中部・北部の順番で実施しており、本年は中部で開催されたもの。児童らはクラリネットと雪の女王のテーマなど聞き覚えのある5曲を鑑賞、歌ったり踊ったり楽しんだ後には、税金の学習として「小学生一人当たり」に使われる税金の額「や」日本の税金は何種類あるか「などをクイズ形式で回答、特に「1億円の重さは何キログラム？」では講師の留萌税務署職員が準備した1億円の束のレプリカを重そうに抱える体験もあったり、学習成果があったよう



ホタテを育てる仕事は大変ですか？ ～学社融合事業「地域の産業（ホタテ漁業）」～



地域の産業を知るために行われている学社融合事業の「ホタテ漁業」の学習が9月17日（水）に苦前小学校（高谷典義校長）と古丹別小学校3年生の児童あわせて19名を対象に開催された。

苦前でホタテ漁業を営む加藤漁業部の加藤孝幸さんの作業場で行われた。留萌振興局留萌北部地区水産技術普及指導所職員もホタテの特徴や育てる漁業の説明のほか、加藤さんも作業の苦勞などを語り、ホタテを育てる丸カゴの中にホタテの稚貝を入れる作業も体験した。

水の中を泳ぐホタテの稚貝に児童らは「かわいい」といいながらカゴの中へ移した。

質問では「なぜ手作業で行うのか」に加藤さんは「生き物を扱うため、細かい作業は手作業でなければならぬ」と述べた。

これまでのご労苦をねぎらって ～平成26年度苫前町敬老会～



9月17日(水)公民館で平成26年度苫前町敬老会が開催され、町内に居住する高齢者約230名が参加した。主催者の森町長は「皆さんの元氣そうなお顔を見るのができ大変うれしく思う。今日は皆さんのご労苦を聞かせていただき町政にいかせていきたい。時間の許す限り楽しんでください」と挨拶。松谷老人クラブ連合会の小松谷悟会長は「地域の支えなどの恩恵があるから生活していけるという思いで、これからは町を担っているという心構えを持って明るく健康で過ごしていきたい」と謝辞を述べた。

この後、苫前婦人会などの舞踊、参加者によるカラオケ、苫前保育園、古丹別保育所園児によるお遊戯などの余興を楽しみながら、1日を楽しんだ。

地域社会貢献事業 ～まちの施設を整備していただきました～

役場横ポケットパーク及びハマナス公園への庭石の設置 ～堀松建設工業株式会社～

苫前漁港東外防波堤その他工事を実施の堀松建設工業株式会社（堀松一郎代表取締役社長）が役場横のポケットパーク及びハマナス公園への庭石の設置を7月22日から8月2日まで地域社会貢献事業として実施した。

国道沿いに点在しておかれた多数の庭石をどのように活用するか苦慮していましたが、実施していただいたお陰で公園内のアクセントとして景観も良くなったように感じました。

ありがとうございました。



ヒラメ放流式へのバスの提供 ～三協建設株式会社～



苫前漁港海岸高潮対策工事を実施の三協建設株式会社（堀松秀樹代表取締役社長）が8月28日(木)苫前漁港新港で開催されたヒラメ放流式に参加する園児の送迎用バスの提供を地域社会貢献事業として実施した。

晴天の中開催された放流式には、苫前保育園と古丹別保育所の園児18名が参加しましたが、バスを提供していただいたお陰で放流式も無事終えることができ、園児らも楽しそうにヒラメを海に放流していました。ありがとうございました。

ハマナス公園遊具撤去及び施設のペンキ塗り ～藤建設株式会社～

苫前漁港衛生管理施設建設一連工事を実施している藤建設株式会社（藤田幸洋代表取締役社長）がハマナス公園の遊具撤去と同施設のペンキ塗りを8月28日(木)と9月8日(月)に地域社会貢献事業として実施した。

同施設の遊具も老朽化により破損箇所もできるなど大変苦慮していました。また、ベンチや東屋も経年により色が薄れていましたが、お陰で施設がリニューアルされたようになり、利用する方も増えると思います。

ありがとうございました。



秋の交通安全運動への協力と啓発用物品の提供 ～興北建設株式会社～



一般国道232号苫前町旭防雪柵設置工事を実施の興北建設株式会社（原田欣典代表取締役社長）が9月22日(月)に苫前中学校前で実施した秋の交通安全推進啓発運動への職員協力と同運動への啓発用物品の提供を地域社会貢献事業として実施した。

これから日没が早くなるため事故の危険が増えることから、毎年この時期に啓発活動を実施していますが、協力していただいたお陰でドライバーに有効な啓発活動を実施することができました。

ありがとうございました。